

原単位の改善のための取組に関する状況【2025年度提出分(2024年度実績)】※非特定事業者用

有限会社 大福商店

日本標準産業分類	コード	項目名
中分類	09	食品製造業
細分類 (申請事業)	0925	冷凍水産物製造業
エネルギー管理統括者	【役職】 【氏名】	

【エネルギーの使用の合理化】

主たる事業における エネルギー消費原単位※注 (2024年度実績)	原単位分母				
	主たる事業の構成割合				
	%				
事業者全体の エネルギー消費原単位 対前年度比	2020 年度	2021 年度	2022 年度	2023 年度	2024 年度
事業者全体の 5年度間平均原単位変化(%)					

※主たる事業は、必ずしもエネルギー消費量の多寡で決定されるものではなく、日本標準産業分類の考えに基づき各事業者が決定したものである。

【電気の需要の最適化】

主たる事業における 電気需要最適化評価原単位 (2024年度実績)	原単位分母				
DR実施日数					
事業者全体の 電気需要最適化評価原単位 対前年度比	2020 年度	2021 年度	2022 年度	2023 年度	2024 年度
事業者全体の 5年度間平均原単位変化					

【ベンチマーク指標の状況(合理化)】

ベンチマーク区分		
目指すべき水準	kWh/t以下	
ベンチマーク指標の状況		
ベンチマーク区分		
目指すべき水準	kWh/t以下	
ベンチマーク指標の状況		
ベンチマーク区分	-	-
目指すべき水準	-	
ベンチマーク指標の状況	-	
ベンチマーク区分	-	-
目指すべき水準	-	
ベンチマーク指標の状況	-	

銘柄コード	
法人番号	6040002100193

エネルギー総使用量	22,844	GJ	589	kWh
前年度エネルギー 総使用量				kWh
非化石エネルギー 総使用量		GJ		kWh
調整後温室効果ガス 排出量				t-CO ₂

【調整後温室効果ガス排出量の算定に用いた認証排出削減量等の量】

種別	合計量		
Jクレジット			t-CO ₂
-	-	-	t-CO ₂
-	-	-	t-CO ₂
-	-	-	t-CO ₂

【非化石エネルギーへの転換】

電気の非化石比率	事業者全体で使用する電気				
目標(2030年度)	5.0%				
直近5年度間の実績値	2020 年度	2021 年度	2022 年度	2023 年度	2024 年度
目安設定業種					
目安(2030年度)					
目標(2030年度)					
直近5年度間の実績値	2020 年度	2021 年度	2022 年度	2023 年度	2024 年度
目安設定業種	-	-	-	-	-
目安(2030年度)	-				
目標(2030年度)	-				
直近5年度間の実績値	2020 年度	2021 年度	2022 年度	2023 年度	2024 年度
	/	/	/	/	-

【取組の概要:業界の事情等を考慮した取組について(定量指標)】

--

【取組の概要:業界の事情等を考慮した取組について(定性的事項)】

1. エネルギーの使用の合理化に関する事項
デマンド監視装置モニターを事務所と作業場に設置し、作業時のデマンド値や使用電力量を「見える化」することで社員間で情報共有し、省電力化を図っている。また工場内で使用するバッテリーフォークリフトは同じ稼働時間で必要な充電回数が少ない省エネ仕様の新型に順次交換を進めている。
2. 非化石エネルギーへの転換に関する事項
再生可能エネルギーの導入や転換を検討していく。

【取組の概要:カーボンニュートラルに向けて】

1. 自由記述欄(カーボンニュートラルの実現等に資する事業者独自の取組や革新的技術に係る研究開発等の取組について)
自然冷媒アンモニア冷凍機を8台有し、魚の凍結数量に応じた最適使用台数での操業体制を心がけている。また多獲性魚対象の既存の電力使用量の多いエアブラスト式の急速凍結システムとは別に、キンメダイや地アジ等の高級魚を対象にした解凍時にドリップの出ない消費電力が極めて少ない新しい急速凍結システムを独自に考案し、製品が地元飲食店や宿泊施設などで利用が広がっている。
2. 関連リンク

(注意事項)

- ・赤枠囲み欄は必須記載です。
- ・再生可能エネルギー電気の利用の促進に関する特別措置法第37条第1項の規定による、賦課金に係る特例の適用を受ける期間においては、情報の公表を継続する必要があります。